

せいろうまち せ 聖籠町

議会だより



避難訓練「さあ急いで」(亀代こども園)

議員定数4人削減し定数14人に
(今年8月の町議会議員選挙から) 7ページ

11議員が一般質問 8ページ

各委員会報告 20ページ

VOL.
79
平成19年7月27日発行

国民健康保険税 (介護保険税分) がアップ

6月定例会

平成19年第2回定例会は、6月19日から26日まで8日間の会期で開催されました。町長から行政報告があり、聖籠町国民健康保険税条例の一部改正、財産の交換、無償貸付など、11議案、同意2件が慎重に審議され原案どおり可決されました。また、請願1件と陳情1件を採択し、30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書など2件が可決されました。

一般質問では、11人の議員が、国体誘致、教育、環境対策と農業振興策などについて町政を質しました。

主な質疑

基金の取崩しを 検討すべき

中村恵美子議員 保険税

をあげる提案をする前に、基金を取崩す考えはなかったのか。基金総額は、平成18年度末、1億2989万円である。今回、なぜこういう事態になったのか。

どうぜん検討した

町長 基金取崩しは基本的に検討にあたいすると思う。

しかし、国民健康保険の中で介護保険事業の財源確保である。検討した結果、国民健康保険事

業とは、性格の違うものであるから、保険税の改正を提案した。

予算算定が 甘かったのでは

加藤正之議員 3月に予

算審議を終えたばかりである。なぜ今、条例改正なのか。昨年、1号保険者の保険税はあがっている。

今の時期に 支払い分確定

町長 国民健康保険制度

は、前年度の所得、資産を算定基準としている。県から今の時期に、支払い分の確定通知がきた。

反対討論

これ以上の負担は 許せない

中村恵美子議員 住民税

の通知がきて1.5倍から2倍あるいは、それ以上の負担が強いられている。増税されずとも、二

重、三重の負担増となる。

基金総額1億2989

万円となる基金を取崩し、住民の負担増にストップをかけるべきと考える。

上げないための努力をしたか、疑問と考え反対である。

財産の交換

19年度の予算と確定金額の差がありすぎたので、検討の結果、今回、改正の提案をした。

町民課長 県からの支払い確定額は4518万円だった。歳入見込みは2400万円なので、今後のことを考慮して、やむを得なかった。

町有財産である、聖籠

地場物産(株)の普通株式880株、4400万円と地場物産の建物(不動産鑑定士評価4400万円)を交換します。

目的は、聖籠地場物産(株)の経営の健全化をはかり、地産地消の拡大です。

主な質疑

鑑定評価と 帳簿上の違いは

加藤正之議員 不動産鑑

定評価は4400万円であるが、地場物産の決算書では4130万円程度である。この違いは何か。



▲売り上げ好調とれたた市場

毎年の減価償却のため

副町長 建物は、毎年、減価償却されているので

差額が出てきた。しかし、不動産鑑定士の評価は、正式な評価である。

4400万円の価値あるのか

小川益一郎議員 地場物産が建って、15年くらい経つが、建物に4400万円の評価があるのか。

価値はある

町長 4400万円の価値はあるという評価で財産の交換をした。

聖籠地場物産(株)へ無償貸付け

町有財産である、土地・建物を聖籠地場物産(株)へ無償で貸付けをします。目的は、地場物産の供給、宣伝の場とし、地産地消の拡大を促進するためです。無償貸付けの期間は、議決日から平成35年7月9日まで。

主な質疑

無償がゆえのトラブル心配

小林清光議員 建物も古くなってきているので、事故等があった場合など責任の所在を、明らかにしておくべきである。貸付け期間が長いので、無償がゆえにトラブルが心配。

指摘のとおりである

町長 約定を取り交わす時に、指摘されたことは、反映させたい。聖籠地場物産が、健全な経営がされるよう行政指導をした。

一般会計補正予算

トキめき新潟国体

聖籠町実行委員会負担金

160万円

網代浜海岸線背後地整備事業

調査設計業務委託料

1040万円

スポネットせいろろ補助金

173万円

主な質疑

国体強化選手の身分をしっかりと

平成19年度一般会計の既定予算に4741万円追加し、総額70億8841万円とするものです。主なものに、道路整備業務委託料470万円、網代浜海岸線背後地整備事業調査設計業務委託料1040万円、交通安全備品購入費72万円、トキめき新潟国体聖籠町実行委員会負担金160万円、学校図書館推進員等謝礼143万円、スポネットせいろろ補助金173万円などです。

小川益一郎議員 平成21年の新潟国体では、当町がセーリングの開催地である。県は早くから、セーリングの強化選手を町に配置した。

国体終了後は本人と協議

今回、県はこの選手を強化選手からはずした。スポネットせいろろでその選手を面倒みるというのだが、本来、県が招へいした選手である。町で採用するのが、国体までだとすれば、選手個人にとって不幸なことである。身分保障をしっかりやるべきだ。

将来、町にとってのセーリングをどのように考えているのか。

町長 県の体育協会からの派げんで、過去1年間町の教育委員会に所属し、セーリング強化選手として活動していた。

当初から、町に在住しているという観点から、個人的にセーリングを普及しようと活動をしている。県の体育協会と協議の結果、国体に精通していることと、町の体育全般にも役立ってもらいたいということで、スポネットせいろろにお願いした。国体後のことは、本

人と協議する。

負担金の納め先はどこか

小林清光議員 トキめき新潟国体の実行委員会へ160万円の負担金が生じてきた。

組織はどこにあるのか。負担金の割合というものがあるのか。負担金の納め先はどこか。

聖籠町の実行委員会へ

国体推進室長 6月16日、聖籠町実行委員会を立ち

上げた。国体については、実行委員会の方で運営していく。

負担金はその実行委員会へのものである。負担金の割合というものはないが、今年については、PR等を進めていきたい。今後も負担金は生じる。

さくらんぼの不作どう考える

加藤正之議員 農業振興費について、さくらんぼが、非常に不作である。以前、農家に対して、支援制度、あるいは農協

の利子補給があったが、今回、予算として考えなかったのか。

厳しい状況は把握している

町長 過去にさくらんぼの減収に伴い、農家に對して、利子補給等をしたことはあった。政策的な対応であった。

しかし、現状において、実績が出ていない。今後、実績をふまえながら、要請を受けた段階で検討する。



▲セーリング会場（網代浜船だまり）

● 気温が影響さくらんぼ減収

● 網代浜船だまり背後地整備

● 「学校運営協議会」推進事業

行政報告



渡邊町長

平成18年度決算状況について報告します。

一般会計決算の状況は、歳入決算額73億40万円、歳出決算額69億9316万円、繰越明許費3742万円。実質収支2億6981万円の黒字決算となりました。

▼特産のさくらんぼの作柄状況について、2月までの高温推移で収穫が平年に比べ、7日から10日ほど早まる予想でした。しかし、3月、4月の

について、交流施設や駐車場、漁協関連施設、アクセス道路などの整備計画を作成し、国、県の理解と財政的な支援を得て、具体的な事業に着手します。

▼「学校運営協議会」について、平成19年度に町単独で推進事業を立ち上げ、すべての小、中学校に配置。試行を1年間行い、20年度から正式にコミュニティスクールに指定する予定です。

「家庭、地域教育審議会」について、教育委員会の諮問に応じて、調査、審議し、答申する重要な付属機関です。4月にスタートして、第1回全体会議が行われました。

▼「いじめ根絶県民運動」について、この運動は、県民総ぐるみで取り組むこととし、具体的に、懸垂幕等の掲示、いじめ根絶ロゴマークの使用、家庭向けリーフレットの配布などが実施されます。

低温が影響して逆に収穫が遅れ、併せて4月下旬の天候不順と低温により結実不良が見られ、収量が心配されます。

▼聖籠海岸については、聖籠町海浜総合整備計画に基づき、聖籠海岸背後地の計画的な海浜公園整備を国、県に要請をはかっています。

網代浜船だまりが、2009年に予定されている「トキめき新潟国体」のセーリング競技の開催会場になるため、背後地

代表監査委員を再任

代表監査委員である真野の鈴木武男さんが、平成19年6月30日をもって任期満了となることから、引き続き選任することに全会一致で同意しました。

鈴木さんは平成15年7月から同委員として活躍しており、知識並びに人格ともに優れた方です。引き続き監査委員として職務の遂行を期待します。



鈴木 武男さん

固定資産評価委員を新任

固定資産評価委員である高口善一さんが、任期中で辞任した後任として、ひばりが丘の駒田文雄さんを全会一致で同意しました。

駒田さんは長年にわたり町助役として奉職され、豊かな行政経験により、同委員として期待される知識を十分にそなえている方です。

固定資産評価委員として、今後に期待します。



駒田 文雄さん

みなさんの

請願・陳情

第2回定例会では、地域住民より直接の声となります請願1件、陳情1件が審査され、すべて全会一致で採択されました。

採択となった請願

◎30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の堅持をはじめとする教育予算の充実を求める請願書（提出者 新潟県教職員組合 北新支部執行委員長 秋元 琢矢）

採択となった陳情

「非核日本宣言のよびかけ」への提唱・賛同のお願い（提出者 2007年原水爆禁止国民平和実行委員会 代表委員 加村 崇雄）

意見書2件を可決し国に提出

第2回定例会で2件の意見書が提出され、すべて全会一致で可決されました。可決された意見書は、国の関係機関に提出し、実現するよう要請します。

- ◎30人以下学級の実現、義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1復元をはじめとする教育予算の充実を求める意見書
- ◎「非核日本宣言」を求める意見書

読者の声



中村 勉さん
(網代浜)

「地域に根ざして」

議会だよりは、学生も職員もいつも楽しみもしております。

二〇〇二年、日韓ワールドカップが開催された年に、産声をあげたJAPANSACKアカレツジも6年目となりました。

聖籠町より多大なご支援をいただき開校できました。私ども一同深く感謝しております。

現在、毎週のように開催している北信越フットボールリーグでは、聖籠町の皆様から力強い応援を頂戴し、優勝まであと少しというた

ころまでできました。

聖籠町は、アルビレックス新潟のホームタウンであり、その町に根ざし町民から愛される、地元の学校として、北信越リーグ優勝を目指して頑張っていると思います。

聖籠町には、ホテル付の、ぎぶりん館があり、大変役立たせていただいております。

学生や職員は、ハードなカリキュラムを消化した後は必ず心身を共に、リフレッシュ兼ねて、ぎぶりん館でリラックスさせていた

だいております。また、県外の選手等が、私どもの学生と交流試合等で対戦したチームには、必ずぎぶりん館のPRをさせていただいております。

私どもは町民との交流を大切にしたい学校をつくりたいと考えております。

毎年私どもが実施しておりますが、網代海岸清掃や聖籠夏祭りへの参加等は楽しみにしております。

今年、町制30周年事業に対しても、町よりご案内をいただいております。学生及び職員等も参加する予定です。

町民の皆様はじめ、議会の方々とも今後は、一層の交流をはかりたいと考えております。

最後に、夢と希望のもてる町づくりに大きな期待を寄せております。

第2回臨時議会

平成19年第2回臨時議会が、5月8日、1日間の日程で開催されました。提出された議案は、専決処分の承認（平成19年度一般会計補正予算、聖籠町税条例の一部を改正する条例）、選挙管理委員及び同補充員の選挙など3議案を審議し、原案どおり可決しました。

任期満了に伴う町選挙管理委員及び補充員の選挙について、指名推薦により、委員に天尾壮一郎さん（藤寄）、水戸部憲男さん（上大谷内）、田村榮吉さん（次第浜）、石澤満理子さん（網代浜）の4人が当選されました。

補充員として小島敬夫さん（蓮野）、宮野幸治さん（山三賀）、横井正さん（亀塚）、渡辺孝子さん（網代浜）が当選されました。

また6月2日、新しい委員による選挙管理委員会が開催され、選挙の結果、天尾 壮一郎さんが委員長に、水戸部 憲男さんが委員長代理に選出されました。

選挙管理委員決まる



委員長代理 水戸部憲男さん



委員長 天尾壮一郎さん



委員 石澤満理子さん



委員 田村榮吉さん

第3回臨時議会

議員定数4人削減し、定数14人となる

平成19年第3回臨時議会が、6月6日、1日間の日程で開催されました。

議員が提出した発議（聖籠町議会の議員の定数を定める条例の一部改正）の1議案を審議し、賛成16人、反対1人で原案どおり可決されました。

主な質疑

住民の声が届かない

中村恵美子議員 新潟県内の112市町村が、今は35

市町村となり、社会情勢が変わっていることは理解している。しかし、市町村合併により住民の声が届かない。議員定数削減で、住民に

町民の声を届ける努力求められる

どういった利益があると思えるのか。

小川益一郎 議会運営委員長 この問題については、全員協議会で十分議論してきた。

町民一人ひとりの意見を吸い上げることは、議会活動の最たる仕事と考える。これから14人が町内すべての町民の意見を、掌握するという努力が求められると思っている。



反対討論

定数削減でサービス低下につながる

中村恵美子議員 私たち

地方議員は、住民の負託を受け、行政に対し協力と監視、提言を行うものである。住民が行政に対して何を求めているのか、それを把握して意見を行政に反映させなくてはならない。

議員の数を4人減らせば、1620万8000円の削減となり、大きな金額として削減できる。しかし、全体の経費を抑えるためには、どういった方法があるのか、検討すべきだったのではないかと4人減らしたことによ

り、住民にどういう利益があるのか、サービス低下となるのではないかと住民の期待に真しにこたえるためにも、議員として職務に誇りと確信を持って議員定数削減に反対する。

賛成討論

十分機能を果たせると考えている

桜井 怜議員 町民は、

平成の市町村大合併により、近隣情勢の形態が大きく変貌した今日、本町の8月改選期の議員定数に大きな関心を寄せている。

それを踏まえ、先般の全員協議会に意見を求め、また各自の述べた意見の

なお一層議会自ら行財政の健全化に努力をする必要がある。

また、行政のチェックについても14人の定数ならば、議員活動の研さんを重ねることにより、十分機能を果たせると考えているので賛成である。

現在18人の定数を4人削減し14人の定数とする。ことで、町民の理解を得、当分の間合併をしないと決定されたことにより、

11議員が質問

— 小川 益一郎 議員 (9ページ) —

1. 無断海外視察11日間
2. 新潟国体大丈夫か
3. 議会4人削減町長の認識は

— 宮沢 光子 議員 (10ページ) —

1. どうなる学校長の権限
2. なぜ「みらいのたね」に委託
3. どう考えている土曜授業

— 五十嵐 利 栄 議員 (11ページ) —

1. バイオマス事業の将来方向は
2. 投票率アップの方策は

— 宮下 晃 議員 (12ページ) —

1. 町づくりと助け合いは
2. どうなった老人福祉施設

— 加藤 正之 議員 (13ページ) —

1. どうする違法建築
2. 宅地分譲は計画通りか
3. 学力調査の結果をどう受け止めるか
4. 一般競争入札の準備は

— 桜井 怜 議員 (14ページ) —

1. 業務手続の説明を集落で
2. 民俗資料館を町の核に

— 堀 常正 議員 (15ページ) —

1. 国体開催に向けた対応は
2. 子どもの教育にいかせ
3. 町のPR看板増設は

— 中村 恵美子 議員 (16ページ) —

1. 特別な事情には一般証を
2. 後期高齢者に助成せよ
3. 中学卒業まで医療費助成を
4. 障害者控除は親切な周知で

— 遠藤 博 議員 (17ページ) —

1. 平成22年町人口は
2. 幹線町道に歩道を
3. こども園に人材投入を

— 高橋 繁 憲 議員 (18ページ) —

1. 目指す町づくりの核は何か
2. 歴史文化と町づくりは

— 手島 八郎 議員 (19ページ) —

1. 港湾緑地の整備はどうなる
2. 現在の浜小屋をどうする

ズバリ
直言

一般質問
町政を問う



小川 益一郎議員

無断海外視察 11日間

他意はない忘却した

問 町長は5月15日から25日までの11日間海外視察と称して町を留守にした。広報の町長日程に記載がないし、議会に報告も連絡もない。不測の事態があつたらどうする。町民や議会に無断で海外視察をなぜやらなければならぬのか。

①主催者②参加者③視察目的と視察先④経費と効果⑤議会や町民に事前に知らせなかった理由。

5月8日視察前に臨時議会もあつた。6月定例会の行政報告の中でも一言の報告もない。

町長 議長に全議員が集まる機会をお願いしていたが、その機会もなく、臨時議会の後で報告する

のを忘れてしまった。大変申し訳ない。特に他意はない。ご理解を。

①財団法人全国自治協会 ②全国町村会長8人、事務局長9人、職員2人、計19人③海外の自治体を実地視察し今後の行財政運営の向上に資す。東ヨーロッパ(チェコ、オーストリア)④1人100万円。自治協会2-3負担、県町村会1-3負担 町0⑤町長と町のホームページに掲載している。



▲了解を得たか海外視察

新潟国体大丈夫か

成功裡を目的に

問 平成21年9月26日から10月6日まで第64回トキメキ新潟国体が開催される。聖籠町にはセーリング、成年女子サッカー、フェンシング、バウンドテニスの4種目が会場となる。

①町民の協力とPR②財政的負担③町への経済的波及効果④宿泊施設の

確保⑤各会場の整備やアクセス⑥現有スタッフで十分か等々、聖籠町が全国のスポーツ愛好家の皆様に、行ってよかつた、来てよかつたと満足の提供が可能か、大成功に終るためにどうすべきか。

町長 国体を開催する以上成功裡に終わることを目的に万全の対策を講じ

て努力したい。

実行委員会を組織してあるので各部門ごとに協力体制を確立したい。

議会4人削減町長の認識は

敬意を表し高く評価

問 県内の市町村合併により社会状況や環境が大きく変貌した。

自立を目指す町の行政改革の一環として議員を4人削減した。町長の認識はどうか。

町長 合併をしない町づくりのために高く評価したい。

どうなる学校長の権限

最終判断の権限は学校長



宮沢 光子議員

問 教育委員会は、昨年
から立て続けに、町独自の
教育施策を出している。
施策の中には、大事な
ものもあるが、平成19年
4月からの学校運営協
議会制度は、保護者から必
要性の意味がわからない
という声を多く聞く。
平成17・18年度の2年
間、聖中では推進事業を
したが、結果はどうだっ
たか。平成19年度は、試
行という形で3小学校に
も学校運営協議会を設
置した。3小学校、中学校
の現場の教師たちとどの
ような議論をしたのか。
学校運営協議会の権限
が、学校長の権限を越え
ることになると学校長に
とって、学校運営に支障
をきたすことになるので

はと危ぐしている。
教育長 学校運営に参画
できるといっても抽象的
なテーマなので、実際に
運営することによって保
護者に理解を得たい。
聖中での2年間の報告
を精査すると、学校長の
権限と運営協議会との兼

ね合いが今ひとつ明確で
はなかった。3小学校長
とは校長会で議論を積み
重ねてきた。
各小学校の学校運営協
議会の方向性は、学校運
営の最終的な判断の権限は
学校長にあるとしている。

なぜ「みらいのたね」に委託 各小学校にも活動を広げたい

問 各小学校の学校運営協
議会の事務局を「みらい
のたね」に委託したが、
なぜいつも「みらいのた
ね」なのか。学校現場の
教師に負担をかけない姿
勢はわかるが、委託した
理由と委託費はどうなっ
ているか。
教育長 「みらいのたね」
の組織は、学校と地域を
結ぶためにあるので、中
学校の「みらいのたね」
を経験した人たちに委託

した。事務事業などの業
務委託費として、一回6
200円、一校で5回分
計上している。一人ひと
りと契約せず、「みらいの
たね」を窓口にし契約し
た。

問 教育再生会議の報告
で、授業時間数10%増を
具体化のため土曜授業の
実施を促している。各自
治体の教育委員会や学校
の裁量に委ねられるよう
だがどう考えているか。

どう考えている土曜授業 教育委員会の公式見解はない

教育長 放課後子どもプ
ランを検討中であり、
総合的に勘案していく。



▲青春広場での授業風景（聖中）

バイオマス事業の将来方向は

細部は今後詰めていく



五十嵐 利栄議員

問 3年前にたい肥センターを事業化し、昨年から生ごみ試験事業を3年計画でスタートした。そして今年に国のバイオマススタウン構想に名乗りをあげ、681万円を予算化し、委託業務が開始されようとしている。

町長 バイオマススタウン構想の策定、公表に向けて手続き中で、北陸農政局と協議している。従って现阶段では、大枠は出

来たが細部的なものは今詰めを行っている。全農が主体で実証を行う、米を原料とするバイオエタノール事業について

ては、聖籠町の遊休農地を利用した対応を視野に入れながら検討していきたい。



▲生ごみモデル事業の全景（真野）

投票率アップの方策は 30年近く苦慮している

問 今年4月に実施された県議会選挙の当町投票率は50・7%で、市町村別投票率は実質ワースト1位だった。同様に過去10年間の衆参議院、県議会選挙でも全て県内ワースト5位以内であった。

選挙管理委員長 4月の県議会選挙の投票率50・7%の中でも、20代の投票率は30・45%と極端に低かった。若者が選挙に行く方策について諸活動をいろんな場で展開していく。

一口メモ
バイオマススタウン
石油などの化石資源だけに頼らず、森林などの生物資源を有効活用し、地球にやさしい環境づくりを目指す市町村をいいます。

定されている参議院議員選挙での投票率アップの方策をどう考えているか。

町長 私が職員時代の頃から30年近くも、国・県レベルの選挙は投票率が低い実態が続いており頭を痛めている。選管と共にアップ策について努力していく。

町づくりと助け合いは 基本的に理解する



宮下 晃議員

叫ばれており、それらの社会現象も踏まえながら、町づくりと助け合いの原点的視点をとらえて、政策的に反映させていく必要があるのかと、基本的に理解している。

「汐彩の郷」ほかに施設

どうなった老人福祉施設

問 我が国の高齢化のスピードは、世界に例をみない速さで進んでいる。介護を要する高齢者の増加、介護の長期化、重

度化、これに加えて核家族化、共働き、老々介護など介護問題は大きな社会問題である。

現在、進められている次第浜浜山土地区画整理事業区域内に計画されている、老健施設の2カ所についてどうか。

健康施設90床、通所リハビリテーション10人(5)平成20年6月開所予定(6)職員数54人

現在、進められている次第浜浜山土地区画整理事業区域内に計画されている、老健施設の2カ所についてどうか。

もう一カ所は、有料老人ホーム(ロージイ、コート聖籠)

(1)設置者の名称(2)規模(3)着工時期(4)収容定員(5)開所時期(6)職員数、また、職員採用にあたっては地元の応募者を、優先採用されるよう町の指導を望む。

(1)法人(株)アセットクリエイション(2)鉄筋コンクリート造り3階建、延べ面積920坪(3)平成19年10月着工(4)全室個室で50室(5)平成20年5月開所(6)職員数現在未定

町長 計画中の老健施設については次のとおりである。

一カ所については、老健施設「汐彩の郷」

- (1)社会福祉法人・心友会
- (2)鉄骨3階建て延べ面積1134坪(3)平成19年7月3日地鎮祭の予定(4)老

老人福祉施設予定地



▲老人福祉施設予定地

地域社会の構成員としてどんな人でも、手を取り合って助け合っていくことが必要でないか。

町長 町づくりの政策の中で、少子高齢化と言われる時代でもある。また情報化、国際化が

どうする違法建築

県に強く要請する

問 杉谷内地内の中古車業者が農業用水路に排水を流し、新発田保健所が浄化槽の設置を指導したことは、そこに住むことを認めたことになり、違法建築も認めたことになる。どういふことか。

対応に苦慮している。建物の建築確認を取り、地元が良いとなれば、合併浄化槽はやむなしと考える。

町長 基本的に違法建築を是認することは出来ないので、改めて県に強く要請していきたい。

生活環境課長 浄化槽法の改正で合併浄化槽であれば道路側溝や水路でも流せるが、違法建築行為を是認する形になるので



加藤 正之議員

宅地分譲は計画通りか 順調に推移

問 次第浜浜山土地区画事業に町と国から6億円近くの資金を無利子融資している。19年度から保留地の販売を開始し、21年度には事業が完了する計画になっているが、分譲は計画通りに進んでいるか。



▲いざ出陣安全パトロール隊

町長 5月末時点で、契約11件・予約23件の報告を受けている。

ふるさと整備課長 1ユニットが2区画・3区画

購入している例もある。面積基準にして、売却率と予約率で48・5%、約半分の販売見通しである。

学力調査の結果をどう受け止めるか

依然厳しい

問 16年度に引き続き18年度も、全県一斉学力調査が行われた。

16年度の結果を受けて教育長は当時、5年以内に70%以上の正答率を県平均にしたいと答弁しているが、この度の全県学力調査の結果をどのよう

に受け止めているか。
教育長 教職員の懸命な努力がありながら、大きな伸びは見られなく、残念であった。正答率そのものはまだまだ満足いくものではないが、16年度に比べると全県の平均に近づいていると言える。

一般競争入札の準備は

遅くとも8月から試行

問 一般競争入札の導入について町長は3月議会の答弁で、新年度から試行的に対応できるか検討するとしたが、どこまで進んでいるか。

町長 現在規定を作成中で、出来るなら7月から、遅くとも8月から試行的に実施できるよう前向きに取り組んでいる。



櫻井 惇議員

業務手続の説明を集落で

懇談的な要請があれば

問 町は各課の事務手続きについては、チラシの全戸配布及び広報等のお知らせで、従来役場の体制は町民に対して、待つ姿勢である。

町民に豊かさを、手助けする条例などをつくっても、該当者が利用手続きに来なければ、そのままで終る。それでは制度をつくった意味が半減する。

そこで、行政サービスを今までの待つ体制を改めて、攻めの体制、今後は集落に向いて手続き

の手助けを行い、保健福祉及び教育事業の活用をはかり、教育と福祉の聖籠町、きらりと光る町づくりができると思う。

職員が集落に向く体制を、考えられないか。

町長 全集落に向くとすると、労力や期間的な制約もある。しかし部分的なものに対する対象者を絞った中での、個別の懇談会とか出前講座など、集落民を対象に説明、また懇談させてほしいとの要請があれば、これまでも出ており問題はないと

思う。

権利を持ちながら、権利行使しないで、行政サービスを受けられない、知らなかったために、制度の恩恵を受けることができないと言うのも、疑問を感じるので、そのような形で対応をはかっていきたい。



▲笑顔で対応窓口業務

民俗資料館を町の核に

町民にもう一回足を

問 先進地視察先でよく、民俗資料館を見ることがある。

現実的な、実態感を思

わせるように、人形などを使い展示物が設置されており、その時代の写真と内容説明がされている。町も展示の方法を考え

てみてはどうか。保管のイメージだけが強くて、民俗資料館の役目が後退しているようにみえる。

ぜひ、町の核として利用してほしい。

教育長 資料館についての目的は、一つは保管という目的、もう一方では

見学者に見せる観光的なものと幅広くあり、現在保管の方に少し偏りすぎた。

もっと写真や説明等を使い、町民にもう一回足を運んでもらえるよう、指摘の点を参考に検討させてほしい。



堀 常正議員

国体開催に向けた対応は 今年から背後地整備

問 平成21年9月にトキめき新潟国体が開催され、正式種目としてサッカー、フエンシング、セーリングの3種目が地元開催となる。その中で、町の漁業あるいは観光産業とのかわりが深く、港湾設備、町道、防風林解除等の行政の役割が大きくなる。

セーリング競技の今後の町の計画とタイムスケジュールは。

町長 実行委員会を立ち上げたばかりで、今後細部について検討を加えていきたい。

セーリング競技については、大会運営を行う事務所を仮設対応で行い、背後地整備として、漁業組合事務所から次第浜寄

りに1万2000平方メートルほどの防風林解除を行う。

駐車場、漁具庫、アクセス道路の整備を今年と次年度で行いたい。今後はクラブハウス、鮮魚センター的なものを将来計画として定めていきたい。

問 セーリング競技は自然を相手とする特異なスポーツであるが、この時期を逃すことなく、子ども

子どもの教育にいかせ

これから考えていきたい

もたちの情操教育に結びつけてほしいが、今後の計画はあるか。

教育長 具体的な計画はまだ策定されていないが、

おおいに学ぶ材料がある。世界チャンピオンが指導者としている。ジュニア

ア育成事業の指定を受けており、教育委員会としても、海を愛する子どもたち、海に学ぶ子どもたちを支援できればと考えている。

町のPR看板増設は

今後対応をはかっていく

問 町には観光ぶどう園、さくらんぼ園、近隣市町村にはないような整った施設や、スポーツ施設も多い。

町長 訪れる人に細やかな配慮した看板も必要と考える。サッカー学校等への看板設置は、今後学校側、アルビレッジ側と協議していく。

これらが集客要因におおいに役立っているが案内看板が整っていない。

サッカー学校や新潟聖籠スポーツセンター等の施設も含め、町のPR看板や施設案内看板を国体に向け整備する必要がある。



▲国体の会場になる網代浜海岸（北信越高等学校ヨット選手権大会）



中村恵美子議員

特別な事情には一般証を

ケースバイケース

問 国民健康保険の加入世帯昨年6月現在、2018世帯で194世帯が滞納している。10世帯に1世帯の割合である。短期証は、2から3世帯に1世帯であり、資格証は30世帯となっている。病気にかかっている人について特別な事情にあたり、一般証の返還を求めないという理解でいいのか。

町長 国民健康保険証に

ついて、今緊急的に医者にかからなければ命を落とす事態も想定できる。そういう特別な事情の場合、当然のことながら特別な措置を講じて対応するのは、当然の行政としての責任である。

また、当然ケースバイケースにより実態に即した形で対応をはかる必要がある。

後期高齢者に助成せよ

現状では考えていない

問 全日本民主医療機関連合会が高齢者2万人の生活実態調査に取り組んだ。調査概要から、高齢者の生活は収入そのものが安心して豊かな老後を送ることができないレベルのものではない。医療、構造改革の名に

よる連続した社会保障の改悪により、健康状態の悪化や受診抑制を招き、私たちの想像以上に貧困と孤立が深まっていることがわかる。

このことから後期高齢者に対し助成すべきでないか。

町長 年金暮らし等をしている高齢者の人にとっては、医療費の負担が重くのしかかってくることもある。しかし、その人たちには所得水準に応じた軽減措置もある。特別な助成制度は考えていない。

中学卒業まで医療費助成を

時期尚早

問 4月から町は通院について、所得に応じ一部助成が小学校卒業まで行われている。中学校卒業まで、できないか。

町長 子どもの医療費助成の拡大は、時期尚早である。



▲ママと一緒に乳児検診

障害者控除は親切な周知で

前向きに取り組みたい

問 要介護認定者の障害者控除は、個別に認定通知書を送付すべきだ。

町長 障害者の人に理解できる方策があれば、前向きに取り組みたい。



遠藤 博議員

平成22年町人口は 最大1000人増



▲いつも満ぱい東山町営住宅

問 第3次総合計画の緑ふれあい、夢づくりとは、町に住んで良かったと思えることが目標と思うが、平成22年の現実的予測人口は何人と捉えているか。

町長 人口フレームで目標は1万8000人であるが到底達成できない。現状の登録人口を踏まえると、1万4500人から1万5000人とみている。

幹線町道に歩道を

基本的には同感

問 常に町は10年先を見通した計画で、安全で快適な移動手段の確保をはかるためにも、広域農道及び町道田ノ島線については歩道の附帯改良整備を先取りしていくべきでないか。

町長 10年先を見通した市街化整備、宅地、道路、上下水道、特に幹線道路に歩道整備とのことである。常には、新設幹線道路については歩道付整備をするのが基本的なスタンスである。今後、整備済み道路の改良等を考える場合、そのような形で整備促進をしていきたい。

問 聖籠町の幼児教育は、次の2点が欠けている。①日常生活の中で数量や図形などに関心を持つこと。②日常生活の中で簡単な標識や文字などに関心を持たせること。

幼児を小学校入学時まで、次の3つを補っていくべきと考える。①1から10までの数字がわかって、意味が理解でき、トランプ遊びができる。②自分の名前が書いて読める。③あいうえおが読めて、かるたとり遊びができる子どもたちを目標に、家庭と子ども園が協力し、聖籠町幼児教育のさらなる向上を目指し、自分の子どもがどの位置にあるかを共有すべきと考える。したがって以上を補うためにも、幼児教育現場に小学校教員有資格者を雇用し、手だてをすべきではないか。

こども園に人材投入を 貴重な考え方と思う

教育委員長 提案の小学校教員有資格の話も非常にアイデアとしては、たいへん貴重な考えだ。今後、どういう目的やどういう役割をもたせるか検討が必要である。



高橋 繁憲議員

目指す町づくりの核は何か

所信表明方針で公表

問 第3次総合計画5本柱の中から、(1)活力、魅力あふれる産業づくり(2)個性豊かな人、ふるさとづくりの2本についてどうか。

合併をせず、自主独立路線を歩んで5年が経過したが、町づくりの核となるものは何か。
①安全、安心、良質が求められる農業振興を核とするのか。②商業者が連けいして核となり、その支援を強化していくのか。

③東港未操業企業や未売却地の操業、売却に向けたトップセールスを核とするのか。④さぶくん館等、グリーンツーリズムを取り入れた、観光を核とした町づくりを目指すのか。

町長 昨年の9月議会において、4年間の政策テーマを掲げ、①②④については、何を核としていくのか詳細に表明しているし、第3次総合計画や、後期基本計画の中で位置づけている。

③については、新潟東港工業地帯の未利用地や、進出協定が締結されても目的に供されていないもの、固定資産税、収入等に反映されていない土地は、政策的な誘導をもって、自立していく町の税収基盤をはかるため、直接的間接的な施策展開をはかっていく。

歴史文化と町づくりは 資料館活用と歴史講座で

問 先人が残してくれた、弥生、奈良、平安時代等の埋蔵文化財が数多く出土している。これら先人が残した宝物をどう後世に伝えていくのか、また宗龍寺の跡地利用は、**町長** 発掘された遺跡等は今後後世にどう伝え、また、保存していくのかは、職員時代から、関ってきた経緯がある。これらは自然な形で残し、貴重な財産価値として確保していき、若い人々にも伝承していく必要がある。また、町史編さんも3月で最終的な発刊となつ

た。それらの大事な資料や調査内容は、民俗資料館の活用や町史の歴史講座等を含め教育委員会でき取り組みをしている。宗龍寺の跡地は、資料館なるものを今、建設に向け、地元の皆さんの意見を聞きながら準備を進めている。



▲あ一宗龍寺跡地（蓮濁）



手島 八郎議員

港湾緑地の整備はどうなる

県に強く要請していく

問 船だまり背後地の港湾緑地の整備については、集落の一部が移転する時、県と集落と町立会いで協議されたが、未だに未整備である。

特に、網代浜神明社裏の林はアメシロの発生源である。早急に、県に対し強く要請すべきである。

町長 緑地の整備については、たびたび県と話し合いをしているが、県も公共事業の抑制で財源調達が難しい状況である。しかし、県に対し神社裏のアメシロ駆除対策も含め強く要請していく。

問 網代浜海水浴場の背後地が保安林解除された後の、現在の浜小屋をどう処理するつもりか。また、海岸道路を海岸まで整備する計画のようだが、現在T字路になっている交差点が、海岸ま

で通すとなると十字路になる。その安全対策は。**町長** 浜小屋の処理については、漁協と協議したうえで進める。できれば、共同漁具倉庫的なものを考えている。海岸道路については、

今アクセス道路として、保安林解除の申請と相まって、来年度に整備する方向で考えている。現在T字路になってお

構造上の面、また保安林解除の振興策も含めながら、最善の安全と環境を整えていきたい。

漁協と協議して進める

現在の浜小屋をどうする



▲網代浜の守り神（網代浜神明社）

を調査・現地視察

広島県海田町を視察

総務文教



5月17日、広島県安芸郡海田町を訪問し、行財政改革について調査を行った。

海田町は広島市に隣接する人口3万人・面積14平方キロ・17年度一般会計決算73億円の財政状況である。

過去に合併を前提として事業を前倒したことによる町債の増加や、三位一体の改革による国庫補助金等の減少などで厳しい財政状況になっている。

海田町の行財政改革は、実施計画に想定効果額を計上しているが、国の制度改正等による財政状況の変化に対応して見直しを行いながら、これまでの行政サービスの守備範囲を「あれもこれも」から「あれかこれか」選択をする、柔軟でスリムな行政システムの構造改革を目指している。

本町の行政改革大綱においても個々の案件ごとに財政上の想定効果額を計上することにより、分かりやすく説得力のある集中改革プランになると思われる。

投棄現場を検証

社会厚生

5月25日、閉会中に委員会を開催。次第浜地区不法投棄現場の実態と診療所医薬分業について調査した。

投棄現場は、加治川右岸の113号線沿いで民有地に工事現場の廃材、古タイヤ、土砂等が多く投棄してあった。また、トラックのアルミバン中古品を住宅代わりにして住んでいたような跡がみられた。次第浜区長から、このまま放置しておくとなれば一層悪くなるので、対処してほしいと要望があった。

次に診療所の医師が丸山先生に代わり、医療業務の効率化と薬事法で定められた医薬分業について調査した。

高齢者には願ってもない院内処方であった。それが近いうちに院外処方外部の薬局から受け取ることにになり、高齢者には十分配慮した対応をとるよう強く要望した。

開会中の委員会で、国民健康保険条令に関する2議案と、一般会計補正予算案と特別会計補正予算案の5議案を審査した。



福岡県大木町を視察

産業経済建設

5月10日、11日バイオマスタウン構想事業について農林水産省より指定を受け事業実施している先進地の福岡県大木町を視察調査した。

当町は生ごみを地域に循環させるための社会システムを確立するため、福岡県リサイクル総合研究センターとの共同事業で「循環の町づくり」の基本構想を策定した。

この構想を基に、平成16年国のバイオマスタウン構想の指定を受け、国の補助を受けながら平成18年9月に10億円でバイオガスシステム施設を完成させた。

この施設は、町内から発生する生ごみ、し尿、浄化槽汚泥をメタンガス発酵させ、それを燃料として施設内の発電や給湯に利用し、メタン発酵して残った消化液を有機液肥として農地に還元している。正に循環の町づくりを実践していた。

本町においてもバイオマスタウン構想を策定中であるが、環境にやさしいガソリン燃料にするためのエタノール製造に向け休耕地を利用することも考えられる。



委員会重要課題

議員定数4人削減

議会運営

5月16日、議員定数削減の是非について議長から調査を付託されたので、その調査結果を左記により報告した。

1. 調査事項

聖籠町議会議員の定数のあり方について

2. 調査結果

イ 議員定数は現在の18人を4人削減し14人とするのが適当である。

ロ 実施時期

平成19年8月より適用

ハ 付帯事項

議会は自らの身を削り、町の将来像に向けて鋭意努力するが、議員として専門的な活動を可能たらしめるため、その身分安定を担保することからも、また、すべての町民が議会議員に挑戦できるように、報酬等は首

長とのバランスを欠くことのないよう強く要望する。

この答申を議長に提出したことを受け、議会全員協議会の議を経て、6月6日議会臨時会において「聖籠町議会の議員の定数を定める条例の一部改正」が議決された。



宮崎県高千穂町を視察

議会広報

5月30日、宮崎県高千穂町の議会広報について研修を行った。「高千穂町議会だより」は、全国町村議会広報コンクールにおいて、平成15年度から4年連続、上位の成績を収めている。

創刊は、当町より遅く平成6年1月からであるが、全国町村議会広報研修での講師から指導を受けたことを、紙面

る。

紙面の構成は、各常任委員会の報告に重点をおいている。毎回、一般質問者が多く、一般質問のページは1ページ2人。

記事の見出しの重要性を意識して、「方言」をできるだけ使い、町民に親しみやすい議会だよりを目指していた。当町においても、見出しの重要性を再認識し、町民に親

しみやすく、わかりやすい議会だよりを目指していきたい。



お知らせ

町政を知るよい機会
議会を傍聴してみませんか
今、町ではどんなことが論議されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのだろう。

あなたに身近なことかも知れません。

だれでも傍聴できますので、ぜひ一度おいでください。

おいでになれなかったときでも、町図書館と保健センターに会議録が置いてありますので、どうぞご覧ください。

次回定例会は、9月中旬の予定です。



お願い

あなたもみんなのページ
聖籠町に嫁いで来たお嫁さんに出てみませんか！
もし、私もと思っている方はご連絡下さい。

対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。

(連絡先)
町役場議会事務局

☎0254-27-1967 (直通)

議会広報対策特別委員会

議長	高松 春雄
委員長	中村 恵美子
副委員長	宮沢 光子
委員	高橋 繁憲
	小川 益一郎
	宮下 晃
	五十嵐 利栄
	桜井 怜

みんなのページ

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん



五十嵐 広実 さん
(蓮湯)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

高校の同級生で、仲の良い友達でした。いつの間にか、付き合い、結婚することが決まった時は、同じクラスの友達はとても驚いていましたが、すごく喜んでくれました。今も、仲の良い友達のような夫婦です。

Q 聖籠町に嫁いで来てどんなイメージを持ちましたか？

自然がたくさんあって、皆さんとても親切で住みやすい、いい町だと思いました。また、教育熱心な町だと思いました。

Q 町での生活はどうですか？

家族や親戚の方など、皆さんにとっても親切にいただき、楽しい毎日を過ごしています。これからも、聖籠町で、笑いの絶えない楽しい家族と、毎日の生活を楽しく過ごしていきたいと思っています。

Q 町に望むことはありますか？

これからも、子どもから、お年寄りまで、皆さんが住みやすい聖籠町であってほしいと思います。

聖籠町に嫁いで来たお嫁さん、今回は新発田市出身で平成19年1月に蓮湯に嫁いで来た五十嵐 広実(旧姓曾我)さんです。皆さんよろしくお願います。

議会広報対策特別委員会
副委員長 宮沢 光子

安倍内閣の閣僚の不祥事が相次いでいる。
政治家には、鈍感力も必要だと小泉前首相が発言していたが、本当にそれでいいのだろうか。
国会議員の眼は一体どこに向いているのか。国会のドタバタ劇を見ていると怒りを通り越し、空しさを感じてしまう。
しかし、「一寸の虫にも五分の魂」ということわざがある。心ある国民はしっかりと国政を見ていることを国会議員は自覚してほしい。
今回の79号は、現広報委員で編集した最後の議会だよりである。平成15年から4年間、編集会議で議論を重ねて、よりよい議会だよりを発行してきたと自負している。町民にとって、町政が身近になるためにも、議会だよりの果す役割は大きい。次の広報委員に、更なる研さんを期待したい。

編集後記